

感染状況・医療提供体制の分析(9月29日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (9月22日時点)	現在の数値 (9月29日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	139人 (7.4人)	69人 (3.6人)	↓	<p>総括コメント</p> <p>レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり3.6人</u>と減少も、60歳以上の割合は増加。 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の効果もあり新規陽性者数は減少。重点措置は解除されたが、宣言・措置を意味あるものにするため、未接種者へのワクチン接種や接種完了後の感染対策を含め、現在の感染対策を継続する必要がある。<u>感染者数を低いレベルで抑え込み、リバウンドを防ぐべきである。</u></p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	14人 (10%)	15人 (22%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	60人	25人	↓	
		県南西部	55人	35人	↓	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	3人	0人	↓	
	市中潜在 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	46人	27人	
割合 (③/①)			33%	39%	↑	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	80人 (14%)	38人 (7%)	↓	総括コメント	
	⑤宿泊療養者数	74人	42人	↓	<p>レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる</p> <p>入院患者数、自宅・宿泊療養者数ともに減少し、通常の医療提供体制にまで回復してきた。</p>	
	⑥自宅療養者数	100人	25人	↓		
	⑦重症者数	5人	3人	↓		